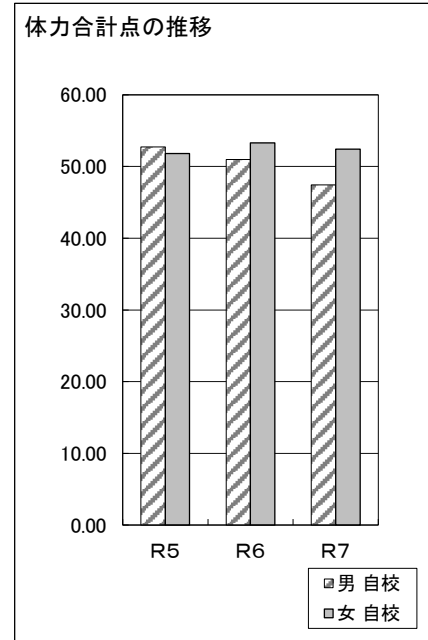
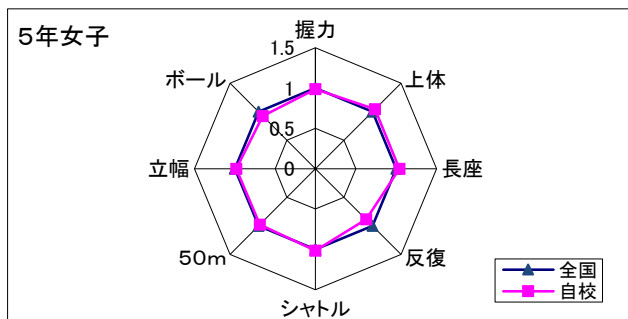
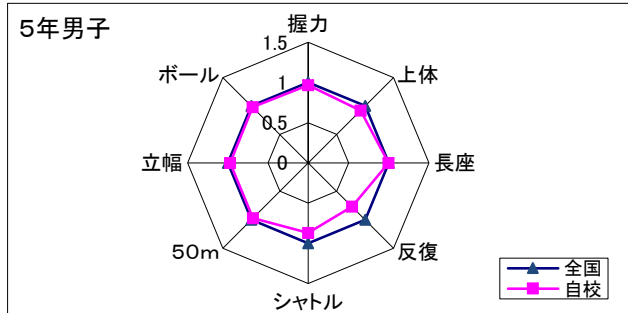


学校名	小04 広小学校
-----	----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値							体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	15.44	17.92	33.81	31.41	41.74	9.71	146.68	20.65	52.75	51.00	47.45
		比較	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	15.40	19.19	39.67	34.36	37.42	9.99	139.89	12.12	51.80	53.31	52.42
		比較	△	○	○	△	○	△	△	△	△	△	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	上体起こし	20mシャトルラン
<p>〈成果と課題〉</p> <p>前年度と平均値を比較すると、男子は記録が0.32下がり、女子は0.14秒伸びた。男子女子ともに全国平均を下回った。前年度よりは、男女間の差が縮まった。男子の全国平均との開きが大きい。男子の低位児童の底上げが必要である。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>前年度と平均値を比較すると、男子は記録が2.46回下がり、女子は0.62回下がった。男子は全国平均を下回り、女子は上回った。男子の低位児童の底上げが必要である。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>前年度と平均値を比較すると、男子は記録が4.72回下がり、女子は0.89回下がった。男子は全国平均を下回り、女子は上回った。男子の低位児童の底上げが必要である。</p>

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合				
男子	全国	93.5	男子	全国	82.5	男子	全国	90.1
	自校	92.1		自校	85.3		自校	91.7
女子	全国	85.8	女子	全国	80.4	女子	全国	82.8
	自校	79.2		自校	85.7		自校	69.6
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女ともに全国平均を下回った。 女子の全国平均との開きが大きい。 体育科の授業で、児童同士の関わり合いを通して、楽しいと思える授業を日々行っていく必要がある。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女ともに全国平均を上回った。 定期的にアンケートを実施することで、朝食への意識を高めることができている。 朝食を食べることのよさを授業や校内掲示を通して児童へ伝えたり、保護者に啓発のお便りを配布したりすることで、引き続き朝食を毎日食べる習慣を定着させていく。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男子は全国平均を上回り、女子は下回った。 女子の全国平均との開きが大きい。 委員会活動や体育朝会を通して、仲間と関わり合いながら運動することを繰り返し、運動に対する抵抗感を和らげていく必要がある。 		